

クラブ運営方針

『奉仕の精神でロータリーの輪を広げよう』



2022-23 年度 富士山吉原ロータリークラブ

会長 小豆川善久

2022-23 年度国際ロータリージェニファー・ジョーンズ会長は、今年度のテーマを「イマジン ロータリー」としました。会長エレクト研修セミナー（PETS）ではこのテーマの解釈について議論になっています。あまりにも幅があり、クラブに持ち帰ってスローガンに反映することが難しいというものでした。確かに抽象的な一言といえますが、私はテーマ講演録から次のような解釈をしてみました。「今地球上では様々な変化が巻き起こっています。その変化は初めて出会う感染症であり環境であり理不尽な紛争です。こうした変化にロータリアンとして何が出来るか想像して、できることから一歩踏み出してください。」あくまで私の主観的な解釈ですがいかがでしょうか？

ロシアのウクライナ侵攻前の講演であり、紛争の対象国はアフガニスタンを取り上げています。つまりこの講演は、ウクライナ戦争を予見した平和へのメッセージともなっているのです。

私はジェニファー・ジョーンズ会長のテーマ「イマジン ロータリー」を受け、今年度のクラブスローガンを『**奉仕の精神でロータリーの輪を広げよう**』としました。奉仕の精神という少し堅い表現としましたが、見返りを求めない最も崇高な心構えでありロータリアンにとっての基本です。私はこの奉仕の精神をまず、海の向こうのウクライナに向けてみたいと思います。2021-22 年度にはウクライナ人道支援チャリティーコンサートを開催しています。一瞬のうちに会場は満席になったのです。私たちの住む富士市は心温かい市民の街なのです。感動したのは私だけではないはずです。誇りを持ちましょう。ウクライナ人道支援を今年度の最重要事業のひとつとします。

次にロータリーの輪を広げる活動についてです。ここは会員増強であることに間違いありません。ただし、ロータリークラブの活動を広く理解していただくことにも努力したいと思います。仲間内だけの活動と受け止められない工夫が必要です。また、当クラブの強みは 10 名の女性会員が活躍していることです。たとえば女性の職場が常に明るく、魅力的であるように、当クラブの雰囲気はここ数年で大きく変化しています。この変化は自然の流れのようであり、他クラブの規範ともなるはずで、女性がつくる華やかなコミュニティが会員増強のひとつの柱となることを期待します。

最後に、IT を活用した参加しやすい例会運営は引き続きの課題とします。

私がロータリークラブに入会して早 20 年が過ぎました。経験年数は多いもののわからないことがたくさんあるのも事実です。会員の皆様のご協力が何より必要です。次年度に引き継ぐまで温かいご支援をお願いいたします。